

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和 7 年度 事業計画
職員配置	●配置計画 理事長 1 名、常務理事 1 名（兼務） 事務局長 1 名（兼務） 事務局員 4 名（兼務） 内 1 名産休、育休取得予定 非常勤 1 名（産業医） 合計 8 名（内 6 名は兼務、4 名は出向）	●実績人員 理事長 1 名 常務理事 1 名（兼務） 事務局長 1 名（兼務） 事務局員 4 名（兼務）7 月 1 名退職、10 月 1 名入職 非常勤 1 名（産業医）（10 月からは業務委託契約に切替） 3 月現在 合計 7 名（内 6 名は兼務、4 名出向）	●予算人員 理事長 1 名 常務理事 1 名（兼務） 事務局長 1 名（兼務） 事務局員 1 名 合計 4 名（内 1 名は兼務）
運営の特例事項		●重要課題 ・職員からのハラスメント申告を受け、弁護士事務所に調査を依頼。 調査の結果、一部内容をハラスメントと認定。今後の対策として、外部講師を管理職向けのハラスメント研修を 12 月 27 日に対面で実施した。 また、ハラスメント相談窓口を内部だけでなく外部にも設置することとし、KAI 法律事務所を委託先とした。	●重要課題 ・ハラスメント相談窓口の職員周知を実施する。 ・職員向けハラスメント研修を実施する。
重点項目	1. 健康管理の充実 ○生活習慣病の改善 ○メンタルケアの充実 ○衛生委員会との連携 2. 本部建物の外部修繕の実施 ○補助金の申請に向けて（2024 年度は 7 月中旬締め切り予定）相談を行い、資料を整えていく。 補助金決定の内示は 2024 年の 11 下旬頃。 その後（内示後 2 カ月以内）、工事業者の入札等を経て 2025 年に着工予定。。 3. 安定運営に向けた人材確保と空きスペースの活用 ○保育部門は、昨年度に引き続き外注の求人ページを活用しながら、職員の確保に向けて就職フェア等に参加していく。 ○高齢部門は、ローコストの求人方法を調査し、公的サービスも活用しながら安定運営に向けた人材確保を目指す。 ○1 階和室を有効活用した事業展開を検討し、開始に向けて準備を進めていく。	1. 健康管理の充実 ○生活習慣病の改善 ・衛生委員会の活動を通して、具体的な健康管理の方法を検討、周知をした。 ○メンタルケアの充実 ・Web 実施が定着し、回答率は昨年度より高くなった。高ストレス者には産業医との面談を勧めた。面談の実施者は 1 名だった。 ○衛生委員会との連携 ・委員会は産業医の勧めもありオンラインでの実施が多かった。 2. 本部建物の外部修繕の実施 ・本体建物全体の工事となる為、保育園按分部分の補助金獲得に向けて葛飾区と協議を実施した。しかしながら、補助基準額の積み上げには至らず獲得することが出来なかった。 ・以前より検討している東京都の大規模修繕補助金および葛飾区の大規模修繕上乘せ補助金については協議を行い、2025 年 1 月に申請書を提出。 2025 年 6 月に内示予定。 補助金を超えての費用については積立金と借入金にて対応することとした。 3. 安定運営に向けた人材確保と空きスペースの活用 ○保育部門 ・外部業者主催、保育団体・行政主催の就職フェアに計 3 回参加。 令和 7 年度採用内定職員（3 月 1 日現在） 正規保育士 6 名（内、2 名雇用変更）、正規学童支援員 1 名 ○高齢部門 ・外国人人材を公的紹介会社活用により 8 月より 3 名、2 月より 1 名採用した。令和 7 年度採用者も 1 名内定。 ○5 月に東京おもちゃ美術館館長多田千尋氏を講師に招き、講演を実施した	1. 規程・規則など法人内制度の再整備と管理監督職への周知・啓発 ○規程・規則の周知、解説 ・法令、制度の改正に伴う、規程・規則の変更について、本部事務局で管理監督職に向けて解説を実施し、職員処遇の安定化を進める。 ○顧問弁護士事務所と連携し、規程内容の精査を実施する。 2.本部建物の外部修繕工事の実施 ○東京都、及び葛飾区からの補助金獲得に向けて折衝を行う。東京都からの内示後に工事業者の入札等を経て 2025 年 9 月ごろに着工予定。年度内の終了を目指す。 3.安定運営に向けた人材確保と新事業実施に向けた情報収集 ○保育部門は、昨年度に引き続き外注の求人ページを活用しながら、職員の安定確保に向けて就職フェアなどに参加していく。また、昨年度実施できなかったホームページの記載内容について検討し、SNS も活用した求人活動を実施していく。 ○高齢部門は、外国人労働者の採用について、積極活用を検討する。宿舍借上げ制度など、職員の処遇改善に向けた制度については引き続き協同して取り入れを検討する。 ○1 階和室を有効活用した新事業とひのか保育園の認定こども園への移行に向けて、各拠点と協同しながら、情報収集を行い、実施に向けた具体的計画を作成する。

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和7年度 事業計画
その他	1. 衛生委員会の実施 2. 評議員会・理事会の開催 (1) 令和6年度第1回理事会 (2) 令和6年度第1回評議員会 (3) 令和6年度第2回理事会 (4) 令和6年度第2回評議員会 (5) 令和6年度 第3回理事会	1. 衛生委員会の実施状況 職員の健康維持・増進について討議した事項を職員に周知するとともに、定期健康診断の結果を分析し、必要な対策を検討して防止対策を周知した。 2. 評議員会・理事会の開催状況 評議員会・理事会の開催状況 令和6年度 第1回理事会 令和6年6月10日 出席 理事6名 監事2名 ① 令和5年度事業報告（案）について ② 令和5年度決算報告（案）について ③ 監事監査報告について ④ 理事長・園長兼務者の定期昇給について ⑤ 役員賠償責任保険について ⑥ 評議員会の招集について ⑦ その他の案件について 令和6年度 第1回（定時）評議員会 令和6年6月26日 出席 評議員5名 監事2名 ① 令和5年度事業報告（案）について ② 令和5年度決算報告（案）について ③ その他の案件について 令和6年度 第2回理事会 令和6年10月3日 出席 理事6名 監事2名 ① ハラスメント疑いに関する調査結果の報告、及び事後対応について ② 評議員会の開催について ③ その他の案件について 令和6年度 第2回評議員会 令和6年10月3日 出席 評議員5名 監事2名 ① ハラスメント疑いに関する調査結果の報告、及び事後対応について 令和6年度 第3回理事会 令和6年12月3日 出席 理事6名 監事2名 ① 諸規程の改正について（給与規程：支払科目、通勤手当） ② 令和6年度中間報告（案）について ③ 令和6年度第一次補正予算（案）について ④ 理事長・常務理事の職務執行状況について ⑤ 理事長・園長兼務者の年末賞与報酬についての提案 ⑥ すずうらホーム及びうらら保育園ルーフバルコニー床デッキ改修工事における補助金申請及び借入金について ⑦ ハラスメント案件に係る今後の対応について ⑧ その他の案件について 令和6年度 第4回理事会 令和7年3月19日開催予定 令和6年度 第3回評議員会 令和7年3月27日開催予定	1. 衛生委員会の実施 職員の健康維持・増進について討議した事項を職員に周知するとともに、定期健康診断の結果を分析し、必要な対策を検討して防止対策を検討する。また、法人と連携し、職員の健康維持に努める。 2. 評議員会・理事会の開催予定 (1)令和7年度第1回理事会 令和7年6月9日(月)開催予定 令和7年度第1回評議員会(定時評議員会) 令和6年6月26日(木)開催予定 (2)令和7年度第2回理事会 日程未定 (3) 令和7年度第3回理事会・第2回評議員会 日程未定

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和 7 年度 事業計画
その他	3. 法人登記	3. 法人登記 （1）資産総額の変更登記 令和 6 年 3 月 3 1 日現在の資産の総額が、2,168,854,206 円となり、令和 6 年 6 月 2 7 日に変更登記を行った。	3. 法人登記 （1）資産総額の変更登記 （2）代表者変更登記
	4. 法人監査	4. 法人監査 令和 5 年度事業報告及び決算書に関する監査を、法人監事 2 名、外部理事 1 名により令和 6 年 6 月 7 日に実施した。	4. 法人監査 令和 6 年度事業報告及び決算書に関する監査を、法人監事 2 名により実施予定
	5. 届出関係	5. 届出関係 （1）労働基準監督署 ① 時間外労働の協定書 ② 変形労働時間の協定書 ③ 各種規程の変更	5. 届出関係 （1）労働基準監督署 ① 時間外労働の協定書 ② 変形労働時間の協定書 ③ 各種規程の変更

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和 7 年度 事業計画																																																								
利用定員	●事業定員 <table><tr><td>年齢</td><td>0歳児</td><td>1歳児</td><td>2歳児</td><td>3歳児</td><td>4歳児以上</td></tr><tr><td>人数</td><td>9</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>24</td></tr></table> 合計 69人 <table><tr><td>年齢</td><td>0歳児</td><td>1歳児</td><td>2歳児</td><td>3歳児</td><td>4歳児</td><td>5歳児</td></tr><tr><td>人数</td><td>9</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td></tr></table> 合計69人	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児以上	人数	9	12	12	12	24	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	9	12	12	12	12	12	●実績人員（令和 7 年 3 月） <table><tr><td>年齢</td><td>0歳児</td><td>1歳児</td><td>2歳児</td><td>3歳児</td><td>4歳児</td><td>5歳児</td></tr><tr><td>人数</td><td>9</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>10</td></tr></table> 合計67人 ○年度途中の入退園 入園 0歳児 5名 1歳児 1名 2歳児 1名 4歳児 1名 退園 0歳児 1名 1歳児 1名	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	9	12	12	12	12	10	●予算定数 <table><tr><td>年齢</td><td>0歳児</td><td>1歳児</td><td>2歳児</td><td>3歳児</td><td>4歳児</td><td>5歳児</td><td></td></tr><tr><td>人数</td><td>9</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>合計69人</td></tr></table> ●執行上の問題点・課題	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		人数	9	12	12	12	12	12	合計69人
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児以上																																																						
人数	9	12	12	12	24																																																						
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																																					
人数	9	12	12	12	12	12																																																					
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																																					
人数	9	12	12	12	12	10																																																					
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																																					
人数	9	12	12	12	12	12	合計69人																																																				
職員配置	●予算人員 施設長 1名 監督職 1名 一般職 23名 非常勤職員 12名 合計 37名	●実績人員 施設長 1名 監督職 1名 一般職 23名 非常勤職員 12名 合計 37名 ○年度途中の入退職・異動など 退職…11月 正規保育士 1名、非常勤保育士 1名 12月 正規保育士 2名 異動…6月 正規保育士 1名 学童保育クラブから 8月 正規保育士 1名 たつみ保育園へ 令和 7 年 3 月現在	●予算人員 *令和 7 年 4 月 退職…正規保育士 1名 用務員 1名 採用…正規保育士 2名 異動…正規保育士 学童保育クラブへ 1名 正規保育士 学童保育クラブから 1名 施設長 1名 監督職 1名 一般職 20名 非常勤職員 9名 合計 31名																																																								
処遇の特例事項	●感染症予防・拡大防止対策 ・マニュアルに基づいた対策を行う *冬期のインフルエンザ、ノロウイルス感染症の感染予防策を行う。 *新型コロナウイルスについて、行政や関係機関からの情報収集を行い、感染予防に努める。	●感染症の状況 4・5・6・7・11・12・1月 溶連菌感染症 26名／10月 マイコプラズマ肺炎 1名 7・8・9・10月 手足口病 31名 4・8・9・1月 新型コロナウイルス感染症 6名 10・11・12月 伝染性紅斑(リンゴ病) 14名／7・10・12月 ヘルパンギーナ 7名 2月 ヒトメタニューモウイルス感染症 7名 4・9月 RSウイルス感染症 2名／6・11月 突発性発疹 2名 6・7・2月 ウイルス性胃腸炎 6名 8・12・1月 インフルエンザ A 型 29名／12月 インフルエンザ B 型 1名 ●苦情解決…苦情解決委員が召集される苦情はなし ●事故発生件数…受診を要する事故・怪我 57 件 内訳：擦過創 11 件／挫滅創 7 件／擦過傷 6 件／外傷 5 件／上唇小帯裂傷 4 件／裂創 3 件／挫傷 2 件／前頭部の挫創 2 件／鼻腔内異物／眼の異物／右前歯の離脱／前額部挫創／右肘関節捻挫／切創／歯牙打撲／右肘関節部挫創／眼球打撲／眼瞼炎／右肘内障／歯の脱臼／眼の皮膚の切り傷／打撲／爪の剥離／細菌感染 ●12月 インフルエンザ A 型 感染拡大に伴い、保健所へ報告 ●保育雑誌出版社から取材の依頼を受けた際、対象児童保護者の承諾を得ず発行。読者に写真が掲載されているページの差し替えを依頼し、回収を行った。2 月保護者同意により回収終了。 ○「個人情報の取扱いについて」の同意書内容の改定 外部情報誌等に児童についての個人情報を記載する際の保護者了承確認方法の再構築を行った。	●感染症予防・拡大防止対策…マニュアルに基づいた対策を行う。 *冬期のインフルエンザ、ノロウイルス感染症の感染予防策を行う。 *各感染症に感染症拡大の兆しがあった場合は、主任・看護師・リスクマネージャーで迅速に対応策を検討し、感染症拡大防止に努める。																																																								

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和7年度 事業計画
重点項目	①保育環境の再考⇒展望 ○保育環境について課題を抽出し、考察を深める ・子供の育ちを支える保育環境（室内・園庭・裏庭）について職員間で探究し実現していく。 ・福祉とは？教育とは？という観点から日々の保育を振り返り、『暮らしの豊かさ』につなげ実践し、これからのうららの保育を展望する。 ○安心・安全な保育 ・子どもの尊厳・権利を守る視点から、安心・安全な保育とは？を職員間で共有し、考察していく。また、リスクマネージャーを中心に安全計画に基づいた研修・実践を行い、職員全体の危機管理への意識を高める。 ・保育現場で活用しやすいマニュアルに改訂し、安全保持に努める。 ・葛飾区から示されるBCP（事業継続計画）を既存のBCPに連動し、再構築を行う。 ②事務業務の効率化やノンコンタクトタイムの安定的な取得 ・ICTシステムの導入拡大に伴い、事務業務の効率化を目指す。 ・ノンコンタクトタイム及び、残業時間を減らす取り組みを再構築し、実施していく。 ③保育の組織力強化 ○職員階層の再編。保育課題の検討と実践 ・ワーキングチームそれぞれが、事業計画の重点項目と連動した保育課題を抽出し、スモールステップを踏みながら課題解決をしていく。 ○『チーム力』を高める ・保育の振り返り⇒共有を職員間で意識的に取り入れながら、対話を深める職員集団を目指す。 ・中堅・リーダー層職員が中心となり、新任・初任層とともにうららの根幹を考察し、保育の充実を図りながら組織力向上に努める。	① 保育環境の再考⇒展望 ・園庭環境構成について、職員が研修に参加し学びをすぐに実践につなげたことで野菜作りや土壌づくりに対する職員の意識に変化が見られた。 ・玩具や物品の購入を進めたが、破損や紛失も多く、モノとの付き合い方について子供や職員と改めて話を機会が持てなかったことが課題として残る。 ・毎月の職員会議冒頭30分を使って、『環境』について正規職員と考察する。職員間の対話を意識したメンバーや研修内容を構成しワークを行うことで、他ミーティングでも自ら課題を出す職員の姿が見られた。 ② 事務業務の効率化やノンコンタクトタイムの安定的な取得 ・今年度より連絡ノートを電子連絡帳へ移行する。導入に伴う大きな混乱はなくスムーズに移行することができた。また、端末の操作に慣れていることや記入の手軽さもあり他の事務に時間を費やすことができ、残業時間の軽減につながった。 ・担任を持っている職員の休憩時間を1時間とし、まずは15分の確実なノンコンタクトタイムの獲得を目指したが、日常的な獲得までには至っておらず、課題が残る。 ・職員の業務軽減を目的に、職員一人一人が園のスマートフォンを所持し、業務を進められるよう計画を進めていったが、スマートフォンで行う業務内容の精査や保管方法、充電環境などを整えきれず、所持までに至らなかった。 ③ 保育の組織力強化 ・ワーキングチームを編成し、各チーム『室内環境』『園庭環境』『安全対策』のテーマを持ち、課題抽出や問題解決に向けミーティングを持った。時間を生み出す工夫をしながら話をする中で、階層に関わらずそれぞれの考えや思いを出し合えるチームになっていた。 ・園内階層別の中堅層職員から「音楽プレイヤーの使用について」「保育室内でのペットボトルの使用について」の問題提起があり、クラスリーダーが集まって対話の時間を持った。話の中で、保育内容について話が展開され、課題解決へつながるとともに、職員間で深めていきたい事柄が次々と出てきた。今後も継続していく。 ・『うららな日』の運営について、ファシリテーターのみならず、クラスリーダーや中堅層職員を交えて話を進めていった。それぞれの得意を活かしながら話が進んでいき、新たな視点や話の活性化が見られた。 ・外部研修を受けた職員が園内研修を持つことで、職員と同じイメージの中で話が進められ、その後からの職員の意識や行動の変化が見られた。	①保育目標の改定 ○園内研修の実施 ・職員会議や園内研修の中で「うららで大事にしたいこと」に着目し、日々の保育を振り返りながら、10年後の保育を展望する。 ○うららの保育の中にある言葉を職員間で読み解き、“うらら広辞苑”を作るべくことばひろいをしながら対話を重ねる。 ②人材育成 ○組織力の強化 ・職員間の情報共有にICTシステムを導入し、より円滑なコミュニケーションと連携を図る。 ・中堅層職員を中心に保育ファシリテーター養成講座を受講し、ファシリテーターと共に職員会議や園内研修等の企画・運営について学びながら携わっていく。 ○職員の意識改革 ・中堅・リーダー層職員が中心となり、新任・初任層とともにうららの現状を考察し、自分事として保育を捉え対話する職員集団を目指す。 ・保育環境について職員間で探究しながら、自らジェネレーターとなってうららの保育を考察する。 ③ ICTシステムの活用拡大を進める ○事務業務の簡素化 ・既存の業務を見直し、ICTシステムを活用しながらシンプル且つわかりやすいツールの利用開始を目指す。 ○情報発信の拡大 ・紙媒体で作成しているツールをアプリへ移行し、円滑な情報発信をする中で、保護者と保育士の子ども理解を深める。
その他	●地域子ども子育て支援事業 ○令和6年度子育てひろば事業の一般型移行に伴い、各活動の見直し、充実を図る。 ・前年度の開催内容や実績を照らし合わせ、より地域に密着したひろば事業を目指し、新たな取り組みを模索しながら計画を実践していくとともに、園独自の強みを模索する。	●地域子ども子育て支援事業 ・今年度より子育てひろば事業を一般型に移行したことで、リーピーターになる家庭が増えた。一方で、新規利用者の増加には至らず、情報の発信方法について課題が残る。 ・うらら保育園主催『布ナプキンと布おむつ』について、講師今井聖美氏を招き、子育て講座を実施。在園保護者2名、他施設職員2名、自園職員2名の参加があった。「選択肢が広がった」「災害時の備えの知識になった」等の声があった。 ・「葛飾区未就園児の定期的な預かり事業」を実施。在園児の保護者と法人職員へ声をかけ2月より利用を開始した。 ・12月 指導検査実施。指摘事項なし。 ・1月 東京都福祉サービス第三者評価実施（株式会社 学研）利用者アンケート実施 回収率 35.8% 満足度 94.7%	●地域子ども子育て支援事業 ○他施設と連携を図り、情報交換を行いながら子育てひろばの更なる活性化と定着化を目指す。 ○ひろば事業におけるSNSの発信を軌道にのせ、定期的な発信を行う。 ●葛飾区未就園児の定期的な預かり事業の導入 令和8年度から新たな給付として「こども誰でも通園制度」が開始。本格実施前に「葛飾区未就園児の定期的な預かり事業」を新規事業として定着化を図る。 ●利用者アンケート 実施予定

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和 7 年度 事業計画																																										
利用定員	●事業定員 ◎通常保育 合計 114 名 <table><tr><td>年齢</td><td>0 歳児</td><td>1 歳児</td><td>2 歳児</td><td>3 歳児</td><td>4 歳児</td><td>5 歳児</td></tr><tr><td>人数</td><td>9</td><td>15</td><td>18</td><td>24</td><td>24</td><td>24</td></tr></table> 合計 114（人） ◎特別保育 一日定員数 一時保育 10 名、病後児保育 4 名 休日保育 10 名 合計 24 名	年齢	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	人数	9	15	18	24	24	24	●実績人員 ◎通常保育（令和 7 年 3 月）合計 103 名 <table><tr><td>年齢</td><td>0 歳児</td><td>1 歳児</td><td>2 歳児</td><td>3 歳児</td><td>4 歳児</td><td>5 歳児</td></tr><tr><td>人数</td><td>9</td><td>15</td><td>18</td><td>20</td><td>18</td><td>23</td></tr></table> ○年度途中の入退園 入園…0 歳児 3 名、1 歳児 1 名、2 歳児 1 名、3 歳児 0 名、4 歳児 0 名、5 歳児 0 名 退園…0 歳児 2 名、1 歳児 1 名、2 歳児 0 名、3 歳児 0 名、4 歳児 1 名、5 歳児 1 名 ◎特別保育 年間利用人数：2 月現在 一時保育 374 名、緊急一時保育 0 名、病後児保育 90 名、休日保育 260 名	年齢	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	人数	9	15	18	20	18	23	●予算定員 ◎通常保育 合計 102 名 <table><tr><td>年齢</td><td>0 歳児</td><td>1 歳児</td><td>2 歳児</td><td>3 歳児</td><td>4 歳児</td><td>5 歳児</td></tr><tr><td>人数</td><td>9</td><td>15</td><td>18</td><td>20</td><td>20</td><td>20</td></tr></table> ◎特別保育 一日定員 一時保育 10 名、病後児保育 4 名、休日保育 10 名 合計 24 名	年齢	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	人数	9	15	18	20	20	20
年齢	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児																																							
人数	9	15	18	24	24	24																																							
年齢	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児																																							
人数	9	15	18	20	18	23																																							
年齢	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児																																							
人数	9	15	18	20	20	20																																							
職員配置	●予算人員 施設長 1 名 管理職 1 名 監督職 1 名 一般職 22 名 非常勤職員 23 名 合計 48 名	●実績人員 施設長 1 名 管理職 1 名 監督職 1 名 一般職 22 名（内 3 名 令和 6 年 3 月末まで育児休業取得中） 非常勤職員 23 名（内 1 名 令和 6 年 3 月末まで育児休業取得中） 合計 48 名 令和 6 年度 3 月退職職員 合計 5 名（内 正規保育士 3 名、非常勤保育士 1 名、非常勤用務員 1 名） ○年度途中の入退職・異動など 入職…6 月：正規看護師 1 名 7 月：非常勤用務員 1 名 月：非常勤用務員 1 名 異動…8 月：うらら保育園より 正規保育士 1 名 退職…5 月：非常勤用務員 1 名 8 月：保育補助 1 名 9 月：非常勤用務員 1 名 9 月：保育補助 1 名 雇用変更…5 月：非常勤用務員→保育補助 産前産後休暇・育児休業…5 月：正規職員 2 名 7 月：非常勤保育士 1 名 8 月：正規保育士 1 名 産前産後休暇…2 月：正規保育士 1 名 (2 月現在)	●予算人員 ※令和 7 年 4 月 退職…正規保育士 3 名 非常勤保育士 2 名 非常勤用務員 1 名 採用…正規保育士 2 名 異動…主任保育士 ひのか保育園から 1 名 施設長 1 名 管理職（副園長）1 名 事務局長・ひのか保育園副園長兼務 監督職 2 名 一般職 24 名（内 1 名産前産後休暇・育児休業取得予定） (内 2 名育児休業取得予定) 非常勤職員 17 名 合計 45 名																																										
処 遇 の 特 例 事 項		●感染症の状況 4・11・1・2 月 突発性発疹 5 名／4・6・1 月 新型コロナウイルス 3 名 4 月 流行性耳下腺炎 1 名／4・5・6・7 月 溶連菌感染症 6 名／5・1 月 感染性胃腸炎 1 名 6・10 月 突発性発疹 2 名／6 月 インフルエンザ B 型 1 名／7・8・9・10 月 手足口病 24 名 7 月 ヘルパンギーナ 2 名／7 月 ウイルス性胃腸炎 1 名／8 月 RS ウイルス 1 名 9・12 月 マイコプラズマ肺炎 3 名／11・12・1 月 伝染性紅斑 25 名 12・1 月 流行性角結膜炎 2 名 12・1 月 インフルエンザ A 型 12 名／1 月 プール熱 1 名 ●事故発生件数…受診を要する怪我 54 件 切創・顔面皮膚感染症／顔面外傷／頭部擦過傷／後頭部挫傷／前額部打撲症／打撲 2 件／前額部擦過創 顔面切創 2 件／左 5 指基節骨骨折／顔の外傷／顔面擦過傷／頭部打撲／左下眼瞼挫創／顔面擦過創 11 件 両頬擦過傷／右頬擦過創 2 件／前頭部打撲挫創／左頬擦過創／右前歯肉外傷／下顎部裂創／結膜炎 左目下・頸部擦過傷／擦過傷／外傷 6 件／左小指関節捻挫／右示指異物／上唇小帯裂傷／右肩新鮮熱傷 歯牙脱臼／左角膜糜爛／右角膜糜爛／顔面咬傷／口唇裂傷・歯の打撲／上口唇裂傷と両前歯の打撲 熱傷／左足首捻挫 ●苦情解決…苦情解決委員が招集される苦情はなし。 (2 月現在)	●感染症予防・拡大防止対策 ・マニュアルに基づき、インフルエンザ、新型コロナウイルス、ノロウイルス感染症の感染予防策を重点的に行う。 ●事故・怪我処置対応 ・マニュアルに基づいた対策を行い、浸透を図る。																																										

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和7年度 事業計画
重点項目	① たつみの園庭環境を考える ○“児童にとっての園庭とは？”を職員が書籍や様々な情報を参考に学び、児童の興味関心が広がる、心地良く過ごせる園庭を考察する ② 安心・安全な暮らし ○職員がわかりやすく閲覧できるマニュアルを目指し、更なる園内マニュアルの整理や改訂等を行う ○災害時に備え、備蓄倉庫内の整理や備蓄品の選定を行う ○安心して安全な暮らしを保つため、安全対策委員会の開催や児童の心模様に着目した園内研修を実施する ③ 保育の質の向上 ○職員一人ひとりが自園の課題を踏まえ、目的意識を持ち学びを深める。また学びを他職員へ伝えることでお互いを高め合い、課題解決に繋げてゆく ○保護者ととともに児童の育ちを見守れるよう、様々な場面での児童の姿を見える化し、発信してゆく方法を学び実践してゆく	① たつみの園庭環境を考える ○現在の園庭環境の課題を抽出しながら、『たつみの園庭像』を考察し実践に繋げた ・職員会議で『たつみの園庭像』について考察し、児童の姿から整備していきたい場所や興味関心が広がる空間づくりをイメージし、伝え合った。すぐにできることを実践し、園庭に新たな環境を作った。 ・保護者と職員で作業をする『たつみワーク』にて、テラスのデッキや園庭のベンチ・テーブル等のメンテナンス、砂場の周りの整備や花壇・木製のパーテーションづくり、保育室扉の色塗りを行ったことで、園内の雰囲気にながみ生まれ、児童の遊びが広がった。作業中、児童の姿や今後『たつみワーク』で実施していきたいことへの会話が生まれ、保護者の安心や更なる環境改善にも繋がった。 ② 安心・安全な暮らし ○既存のマニュアルを見直し、職員がわかりやすく閲覧できるマニュアルづくりや整理をすすめた ・ブレスチェックマニュアルの見直しや新たな SIDS のマニュアル等、どの職員が見てもわかるようチームで会話を重ね、マニュアルづくりを行い、会議にて共有した。 ○備蓄品の試食や新たなものを購入し、災害時の備えの充実を図った ・献立会議にて備蓄品の試食を行い、児童が食べやすい備蓄食の選定や災害時にどのような食事があると良いか等を検討し、購入した。また、担当チームで災害時に必要なヘッドライト・室内ライトを検討し購入したほか、非常用トイレの重要性を再確認し購入した。 ・行事で保護者に備蓄食の提供を行った。「美味しい」という声が多く、園の災害時の備えを保護者が知ること、安心へ繋がった。 ○安全に関する訓練を計画的に実施し、安心・安全な保育の構築を目指した ・葛飾警察署防犯係による防犯訓練や上平井消防署隊員による溺水事故を想定した心肺蘇生の講習会に加え、安全チームによるアクションカードの使用方法について学び、実践する園内研修を実施。危機管理意識を高めた。 ・これまで室内で行っていた『非常災害時引き取り・引き渡し訓練』を園庭にて実施した。62 家庭が参加し、児童の姿や職員の動き等、実際の災害時を想定した際の課題が見え今後の訓練に繋がる時間となった。 ③ 保育の質の向上 ○自身の学びを他職員へ伝える研修報告会を実施し、様々な知識が増えた ・研修で学んだ内容を他の職員へ共有する機会が増え、安全や食、保護者支援、玩具に関することなど、一人ひとりの学びとなり、質の向上へ繋がった。 ○お便りや連絡ノート、活動メモ等『園内の記録物』について課題を抽出し、内容の充実や事務の効率化に向けて考察を重ね実践した ・保護者へ発信している書類について現状を職員間で共有し、課題の抽出を行い、お便りの記載内容を変更した。また、廊下にクラス担任が作成したウェブマップを掲示し、園での暮らしや児童の育ちを発信した。作成をしている中で感じていることや今後の改善点、改善策について職員会議で話し合い、課題解決に向けすすめた。 ・事務の効率化を目指し現在の ICT システムを変更することを検討。業者選定をすすめ園が求めるサービスを提供している業者に決定し、移行準備を整えた。	① 『たつみの園庭づくり』を実践する ○児童の姿を考察しながら、園庭の環境改善をすすめていく ○職員間で試行錯誤を重ね、共通理解の中で実践と振り返りを行い、児童が『わくわくするような』『やりたいができる』に繋がる園庭づくりを実践していく ② 安心・安全な暮らし ○誤飲や誤嚥のマニュアル等整理をすすめ、誰が見てもわかりやすい内容に改訂し、安全に関する学びを深めていく ○備蓄品の整理・選定を行い、災害時の対応に備える ○『ヒヤリハット報告書』の活用方法を見直し、振り返りを行い職員の危機管理意識の向上に繋げる ③ 保育の質の向上 ○異年齢で関わる姿を考察しながら職員間で対話を重ね、『家庭的な保育』を目指す ○各会議の内容を充実させ、学び→実践→振り返りを繰り返し、職員一人ひとりの保育の質の向上を図る ○保育や保護者対応など基本的な立ち振る舞いについて学ぶ機会を設けると共に、思いやりや丁寧さを心得ることで、心地良さを感じられる職員集団を目指す
その他	●葛飾区指導検査の受審 ●葛飾区主催利用者アンケート実施 ●東京都福祉サービス第三者評価 実施予定なし	●葛飾区指導検査の受審 1 月に実施 ●葛飾区主催利用者アンケート実施 12 月に実施(回答率 65%・満足度 100%)	●葛飾区指導検査の受審 ●東京都福祉サービス第三者評価の実施 ●葛飾区主催利用者アンケート 実施予定なし

項目	前年度計画							前年度実績（課題）							令和7年度 事業計画																																		
利用定員	●事業定員							●実績人数（令和7年3月）							●予算定員																																		
	<table><tr><td>年齢</td><td>0歳児</td><td>1歳児</td><td>2歳児</td><td>3歳児</td><td>4歳児</td><td>5歳児</td></tr><tr><td>人数</td><td>15</td><td>20</td><td>24</td><td>24</td><td>24</td><td>24</td></tr></table>							年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	15	20	24	24	24	24	<table><tr><td>年齢</td><td>0歳児</td><td>1歳児</td><td>2歳児</td><td>3歳児</td><td>4歳児</td><td>5歳児</td></tr><tr><td>人数</td><td>15</td><td>20</td><td>24</td><td>22</td><td>23</td><td>24</td></tr></table> 合計 128人							年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	15	20	24	22	23	24	◎通常保育 合計 131名						
	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																										
人数	15	20	24	24	24	24																																											
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																											
人数	15	20	24	22	23	24																																											
合計 131人							○年度途中の入退園児 入園・・・0歳児4名、1歳児0名、2歳児2名、3歳児2名、4歳児4名、5歳児0名 退園・・・0歳児2名、1歳児0名、2歳児1名、3歳児2名、4歳児2名、5歳児0名 ○特別保育事業 年間利用人数（2月末時点） 一時保育 346名							<table><tr><td>年齢</td><td>0歳児</td><td>1歳児</td><td>2歳児</td><td>3歳児</td><td>4歳児</td><td>5歳児</td></tr><tr><td>人数</td><td>15</td><td>20</td><td>24</td><td>24</td><td>24</td><td>24</td></tr></table> ◎特別保育 一時保育 職員の確保が難しいため当面の間、休止							年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	15	20	24	24	24	24															
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																											
人数	15	20	24	24	24	24																																											
職員配置	●予算人員							●実績人員							●予算人員																																		
	施設長 1名 管理職 1名（副園長） （事務局長、たつみ保育園副園長兼務） 監督職 2名 一般職 30名 （内2名育児休業取得中） 非常勤職員 20名 （内1名育児休業取得中） 合計 54名							施設長 1名 管理職 1名（副園長・事務局長・たつみ保育園副園長兼務） 監督職 2名 一般職 30名（内1名育児休業中、内1名産前休暇中） 非常勤職員 19名（内1名育児休業中、内1名休職中） 合計53名 令和6年度3月退職職員 計3名（正規保育士1名、非常勤保育士1名、保育補助1名） ○年度途中の入退職・異動など 退職…9月 非常勤用務員 1名 																																									

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和 7 年度 事業計画
重点項目	① 組織力の向上 ○職員育成の強化 ・職員一人ひとりの特性や現状に合わせ、個別の育成の強化を図る。 ・目標を設定し、チームで協働しながらものごとをすすめる経験を重ね、チーム力の向上に繋げる。 ○安全な保育環境の構築に向けた取り組みを強化 ・安全計画を基に安全の確保に向けた取り組みを実施。園全体の安全力（対処力・予防力）及び、一人ひとりの安全・危機管理意識の向上を目指す。 ② ICT システムの見直し・活用 ○現状の課題を基に、業務の効率化や情報発信・共有の充実を図る ・課題に則したシステムを導入することで、事務業務の軽減や保育の質の向上に繋げる。 ・子どもの育ちを捉える視点を育み、保育の記録の充実を図る。 ・園と保護者の情報共有のツールとして、利便性や内容の充実に向け、ICT の活用を再検討する。 ③ 地域交流スペースの活用 ○地域住民の居場所作りとして、施設のスペースを活かす ・学童保育に在籍していない就学児童を対象に地域交流スペースを開放する。 ・地域のニーズを調査し、多世代に向けた活用方法を見出していく。	① 組織力の向上 ○職員育成の強化 ・個人研修計画シートを基に面談を行い、個々の思いや課題を共有。職員一人ひとりの現状を管理監督職で把握し、研修内容に合わせて参加者を選出した。研修での学びを実践に繋げたり、職員会議やミーティング等で他職員と対話する場を設けたりと、学び深める機会を多く持つことができた。 ・保育の質やチーム力の向上を目指し、4 つ（声掛け・関わり、記録、園庭環境、室内環境）のワーキングチームを編成。リーダー層を中心に各課題について学びを深め、次年度も継続して話し合いたいとの声が挙がった。 リーダー層と共に職員会議の企画・運営を始めた。リーダー層が運営を担った際は、対話の活性化に繋がった。また、年間を通して、主任とリーダー層で会議の内容を考え、ひのかの大切にしたい事や課題解決の方向性を共有し、リーダー層としての一人ひとりの意識の向上を図っていった。 ○安全な保育環境の構築に向けた取り組みを強化 ・安全対策委員会のメンバーで、情報共有や人数把握についての課題を抽出。情報共有の手引書を作成し、職員会議で手引書の読み合わせと個人ワークを行った。1 月には児童施設合同の危機管理研修に参加し、個人差はあるが、情報共有に対する意識が高まる。意識が薄れていかないよう、継続的な話し合いの場やマニュアル等を確認する機会を設けていった。 2 月に園のスマートフォンを紛失する事案があり、セキュリティ意識の低さが露呈した。再発防止策は講じたが、改めて個人情報の取り扱いに関して、現状の見直し及びさらなる強化に努めた。 ② ICT システムの見直し・活用 ○現状の課題を基に、業務の効率化や情報発信・共有の充実を図る ・新たな ICT システムの業者を選定し、連絡ノートアプリの導入及び、保育に関わる書類の移行を行った。書類の紐づけを行ったことにより事務業務の一部軽減に繋がった。また、緊急時のメールをアプリへ移行。園からのお知らせを確認する保護者が増えた。また、お便りや献立等もアプリで配信し、ペーパーレス化を図った。 ・記録チームで、職員間での対話やお互いの視点を共有する為の記録の重要性について話し合った。2 月の職員会議で、保育における記録についてのポイントを共有し、個々で書いた日誌を読み合い、感じたことや思いを伝え合う機会を設けた。 ③ 地域交流スペースの活用 ○地域住民の居場所作りとして、施設のスペースを活かす ・学童保育クラブに在籍していない就学児童を対象に、登録・予約制で小学生の放課後の居場所「かしの木」を開始。令和 7 年 1 月 27 日（月）～31 日（金）にプレオープン実施、令和 7 年 2 月 12 日（水）より本格実施とした。現状、登録児童数 3 名、利用児童数 2 名であるが継続的に利用している。現在、ポスターの掲示範囲を近隣小学校の学区域内に留めているが、掲示範囲を広げ認知度を上げていく。利用児童の姿としては、好きなことや興味のあることに時間を掛け取り組む姿も見られ充実した時間となっている。 ・本事業について、公益財団法人 東京都福祉保健財団・子供が輝く東京・応援事業 定額助成に応募、助成対象事業として選定された。助成対象期間は令和 7 年度 3 月末までとなっている。本事業の運営に係る費用等、補助金を受けられる団体等検討していく。	① 危機管理意識の向上 ○職員育成の強化 ・外部研修等、安全に関する継続的な学びの機会を設け、職員一人ひとりが安全管理・危機管理の意識を高めていく。 ・ひのかの課題に対し、一人ひとりが当事者意識を持ち行動できるよう、目的や役割を明確化する。 ② 保育の質の向上 ○「暮らし」を軸に、日常を整える ・職員間で対話を重ね、ひのかの「暮らし」をイメージしながら、保育環境の見直しを行う。また、「あたり前」に着目し、意図や意味を見出し実践に繋げる。 ③ 新事業に向けた取り組み ○小学生の放課後の居場所について、事業の継続・定着を図る ・利用者の声や地域の実情に合わせ、利用しやすい環境を柔軟に生み出していく。 ○園の経営と運営の安定化を目指す ・令和 9 年度に認定こども園への移行を視野に入れ、区への相談及び情報収集を行う。
その他	●東京都福祉サービス第三者評価の利用者アンケート実施 ●子育てひろば事業（一般型）	○12 月 東京都福祉サービス第三者評価機関による利用者アンケートを実施（回収率 33.3％） 大変満足＋満足＝100％ ○子育てひろば事業（一般型） 昨年度に比べ利用家庭数は 1 割程度減少したが、園庭開放や感触遊び等のイベントが好評で日常的な継続利用に繋がっている。 12 月にはおもちゃコンサルタントでもある【でかけるおもちゃ屋そのつ森】森田氏によるおもちゃ講座と販売会を実施。玩具選びや遊びについてのアドバイスもあり好評を得た。	●東京都福祉サービス第三者評価機関の事業受審及び利用者アンケート実施 ●子育てひろば事業（一般型） ●園舎の修繕（外壁木板塗装、日除け設置等）

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和7年度 事業計画																																												
利用定員	●事業定員 <table><tr><td>年齢</td><td>0歳児</td><td>1歳児</td><td>2歳児</td><td>3歳児</td><td>4歳児</td><td>5歳児</td></tr><tr><td>人数</td><td>0名</td><td>0名</td><td>3名</td><td>3名</td><td>2名</td><td>4名</td></tr></table> 合計12名	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	0名	0名	3名	3名	2名	4名	●実績人員（令和7年3月） <table><tr><td>年齢</td><td>0歳児</td><td>1歳児</td><td>2歳児</td><td>3歳児</td><td>4歳児</td><td>5歳児</td></tr><tr><td>人数</td><td>0名</td><td>0名</td><td>3名</td><td>3名</td><td>2名</td><td>4名</td></tr></table> 合計12名 ○年度途中の入退園 入園 2歳児 3名 4歳児 1名	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	人数	0名	0名	3名	3名	2名	4名	●予算定数 <table><tr><td>年齢</td><td>0歳児</td><td>1歳児</td><td>2歳児</td><td>3歳児</td><td>4歳児</td><td>5歳児</td><td></td></tr><tr><td>人数</td><td>0名</td><td>0名</td><td>1名</td><td>2名</td><td>4名</td><td>2名</td><td>合計9人</td></tr></table> ●執行上の問題点・課題	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児		人数	0名	0名	1名	2名	4名	2名	合計9人
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																									
人数	0名	0名	3名	3名	2名	4名																																									
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																									
人数	0名	0名	3名	3名	2名	4名																																									
年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児																																									
人数	0名	0名	1名	2名	4名	2名	合計9人																																								
職員配置	●予算人員 運営受託管理者（保育士）1名 一般職 1名（保育士） 非常勤職員 4名（保育士資格保有者3名 子育て支援員1名 合計6名	●実績人員 運営受託管理者1名 一般職1名 非常勤職員4名 合計6名 ○年度途中の入退職・異動など なし 令和7年3月時点	●予算人員 *令和7年4月 運営受託管理者1名 一般職員1名 非常勤職員4名 合計 6名																																												
処遇の特例事項		●感染症の状況 新型コロナウイルス感染症の感染状況 4歳児…1名（9月13日～9月18日） 3歳児…1名（9月14日～9月20日） ●事故発生件数…受診を要する怪我3件 肘内障 5月24日園受診 火傷 6月19日受診なし 打撲 12月16日園受診 ●苦情解決…苦情解決が招集される苦情はなし	●感染症予防・拡大防止対策…マニュアルに基づいた対策を行う。 *冬期のインフルエンザ、ノロウイルス感染症の感染予防策を重点的に行う。 *新型コロナウイルスについて、行政や関係機関からの情報収集を行い、感染予防に努める。																																												

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和7年度 事業計画
重点項目	①保育環境を考える ○子供達の“やりたい”想いが実現する場所 ・整理整頓がしやすく、手に取りたい、やってみたくなるような環境作り ・子供達の姿から、今の発達段階を理解し、子供達同士のやり取り、遊びをサポートし、安心して過ごせる場所 ○安全な保育環境 ・危険な場所、子供達の遊び方、育ち、出来事、保育を通して感じたことなど、職員間で周知できる時間を作る ○SDGs 将来島に戻りたいと思えるような、地域に愛着と誇りを持つ子供を育てる ・山や海、人、文化に触れるだけではなく、“知りたい”と思えるような伝え方を考えていく ②行事の進め方 ○対話を大切にする ・考えや、アイデアを自由に発言し、子供達で園を作っていることが実感できる場所 ③ 保育園拠点の子育て ○子どもの人数の減少が見えている中で、今後の保育園の在り方を変えていく必要があると考える。そのための相談を始めていく。 ・保育時間の見直し、放課後広場、未就園児の園舎利用など	① 保育環境を考える ○子供達の“やりたい”想いを引き出す保育 ・画材や、工作材料を整理した。今まで手に取りにくかった材料も使えるようになり、子供達の製作活動の幅が広がった。また、「こんなことがしてみたい」と大人と相談する姿が増えた。今後も、使いやすい環境を更新していく。 ・月に一度のミーティングが定着してきたことで、子供達の姿や発達の様子を共有し、配慮方法を職員間で考えることができりようになった。今後は、ミーティングの時間を利用して、研修報告や、テーマを決めての勉強なども計画していきたい。 ○安全な保育環境 ・安全チェックリストの作成と、運用を開始した。チェックした内容を忘れずに共有することを定着させていきたい。 ・子供達と園内、散歩先の危険な場所について話をした。今後は話した内容を絵に起こし、子供も分かりやすく、非常勤や新入職員にも伝えやすいものを考えていく。 ○SDGs 将来島に戻りたいと思えるような、地域に愛着と誇りを持つ子供を育てる ・子供から“しりたい”を引き出していく方法は模索中。今後も対話を中心にしながら、島内の施設に出かけるなどして、島のことを“しりたい”想いを育てていく。 ② 行事の進め方 ○対話を大切にする ・園で起きた出来事を中心に対話を行った。アイデアを出す、友達の話聞くなど、対話に参加することに慣れてきている様子。今後は、意見に対しての感想、話のまとめ等も子供達でできるように、対話の方法を模索していく。 ③ 保育園拠点の子育て ・島内の人材探しを進めた。協力者を見つけることはできたが、具体的な内容は進展せず。来年度へ持ち越して、役場との話し合いを進めていく。 ・未就園児保護者に声を掛け、園庭開放や、園内の玩具利用を勧めた。島内に未就園児が少ないこともあるが、同じ親子のみの利用になっている。未就園児の親子サークルもあるため、サークル時に園内の絵本や玩具の貸し出しを行っていきたい。	①対話でつくる保育 ○対話の方法を模索する ・子供達主導の話し合い、普段の保育、行事を一から作り上げることの達成感を得る。 ・他施設との交流を深める。 ○SDGs 将来島に戻りたいと思えるように、地域に愛着と誇りを持つ子供を育てる。 ・地域についての疑問などを聴き取り、実際に出かけて五感を使って調べる。 ②安全な保育環境 ○チーム力の向上 ・研修報告やテーマを決めての学び合い、日々の保育についての語り合いを月のミーティングに取り入れ、子供達の見守りに繋げていく。 ○緊急事態への対応 ・避難経路、方法を保護者、役場関係者、職員間で周知する。 ③行事の進め方 ○対話を大切にする ・考えや、アイデアを自由に発言し、子供達で園を作っていることが実感できる場所 ④保育園拠点の子育て ○子どもの人数の減少が見えている中で、今後の保育園の在り方を変えていく必要があると考える。そのための相談を始めていく。 ・保育時間見直し、放課後広場、未就園児の園舎利用（子ども誰でも通園制度） ・外部講師を招いての子育て講座、ワークショップなど ⑤仕組みの見直し ○保育園の決まり事の“なぜ”をゼロにする。 ○事務所類の整理

重点項目			令和４年度からの持ち越し事項 ①保護者への子育て支援 ○子育てへの悩みを相談しやすい環境づくり ・小部屋を利用して、気軽に話ができる場所を提供する ②園庭側の出入り口・通路の整備 ○水道の修繕 ・子供達が使いやすい高さに修繕する。 ○屋根の設置 ・雨の日も外通路を使用できるようにし、出入り口としてりようできるようにする。 ※前年度からの持ち越し事項においては、継続して進め、時期をみて実施する。
------	--	--	---

項目	前年度計画		前年度実績（課題）		令和年7度 事業計画																																																																																	
利用定員	小松南らる第一	小松南らる第二	小松南らる第一	小松南らる第二	小松南らる第一	小松南らる第二	執行上の問題点、課題等																																																																															
	●事業定員 61名 ＊内 障がい児5名 ●予算定数 61名 4月1日児童数（人） <table><tr><th>学年</th><th>在籍人数</th></tr><tr><td>1年</td><td>39</td></tr><tr><td>2年</td><td>21</td></tr><tr><td>3年</td><td>0</td></tr><tr><td>4年</td><td>1</td></tr><tr><td>合計</td><td>61</td></tr></table>	学年	在籍人数	1年	39	2年		21	3年	0	4年	1	合計	61	●事業定員 32名 ●予算定数 32名 4月1日児童数（人） <table><tr><th>学年</th><th>在籍人数</th></tr><tr><td>1年</td><td>0</td></tr><tr><td>2年</td><td>26</td></tr><tr><td>3年</td><td>6</td></tr><tr><td>合計</td><td>32</td></tr></table>	学年	在籍人数	1年	0	2年	26	3年	6	合計	32	●実績人員 3月 現在児童数（人） <table><tr><th>学年</th><th>在籍人数</th><th>入退数</th></tr><tr><td>1年</td><td>40</td><td>入：3退：2</td></tr><tr><td>2年</td><td>20</td><td>退：1</td></tr><tr><td>3年</td><td>0</td><td></td></tr><tr><td>4年</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td>61</td><td></td></tr></table> 入退数…年度途中入退会数 ＊内 障がい児5名	学年	在籍人数	入退数	1年	40	入：3退：2	2年	20	退：1	3年	0		4年	1		合計	61		●実績人員 3月 現在児童（人） <table><tr><th>学年</th><th>在籍人数</th><th>入退数</th></tr><tr><td>1年</td><td>1</td><td>入：1</td></tr><tr><td>2年</td><td>23</td><td>入：2退：5</td></tr><tr><td>3年</td><td>8</td><td>入：3退：1</td></tr><tr><td>合計</td><td>32</td><td></td></tr></table> 入退数…年度途中入退会数	学年	在籍人数	入退数	1年	1	入：1	2年	23	入：2退：5	3年	8	入：3退：1	合計	32		●予算定数 61名 ＊内 障がい児5名 4月1日児童数（人） <table><tr><th>学年</th><th>在籍人数</th></tr><tr><td>1年</td><td>34</td></tr><tr><td>2年</td><td>21</td></tr><tr><td>3年</td><td>6</td></tr><tr><td>合計</td><td>61</td></tr></table>	学年	在籍人数	1年	34	2年	21	3年	6	合計	61	●予算定数 32名 ＊内 障がい児1名 4月1日児童数（人） <table><tr><th>学年</th><th>在籍人数</th></tr><tr><td>1年</td><td>0</td></tr><tr><td>2年</td><td>11</td></tr><tr><td>3年</td><td>15</td></tr><tr><td>4年</td><td>1</td></tr><tr><td>5年</td><td>1</td></tr><tr><td>合計</td><td>28</td></tr></table>	学年	在籍人数	1年	0	2年	11	3年	15	4年	1	5年	1	合計	28
	学年	在籍人数																																																																																				
	1年	39																																																																																				
2年	21																																																																																					
3年	0																																																																																					
4年	1																																																																																					
合計	61																																																																																					
学年	在籍人数																																																																																					
1年	0																																																																																					
2年	26																																																																																					
3年	6																																																																																					
合計	32																																																																																					
学年	在籍人数	入退数																																																																																				
1年	40	入：3退：2																																																																																				
2年	20	退：1																																																																																				
3年	0																																																																																					
4年	1																																																																																					
合計	61																																																																																					
学年	在籍人数	入退数																																																																																				
1年	1	入：1																																																																																				
2年	23	入：2退：5																																																																																				
3年	8	入：3退：1																																																																																				
合計	32																																																																																					
学年	在籍人数																																																																																					
1年	34																																																																																					
2年	21																																																																																					
3年	6																																																																																					
合計	61																																																																																					
学年	在籍人数																																																																																					
1年	0																																																																																					
2年	11																																																																																					
3年	15																																																																																					
4年	1																																																																																					
5年	1																																																																																					
合計	28																																																																																					
職員配置	●予算人員 児童支援員4名 （内非常勤2名） 子ども総合プラン 児童支援員2名 （内施設長兼務1名） （内非常勤1名）	●予算人員 児童支援員3名 （内非常勤2名）	●実績人員 児童支援員 4名（内非常勤2名） 子ども総合プラン 児童支援員2名 （内施設長兼務1名 非常勤1名） ●年度途中の入職・退職 ○5月 保育補助 1名入職 6月 児童支援員 1名退職 ●年度途中の異動 ○7月 児童支援員 1名 西新小岩あやから異動	●実績人員 児童支援員3名 （内非常勤2名） ●年度途中の入職・退職 なし	●予算人員 児童支援員5名（内非常勤3名） 保育補助2名	●予算人員 児童支援員2名（内非常勤1名）	学童全体退職・採用 令和7年4月 退職…正規児童支援員1名 保育補助2名 採用…正規児童支援員1名 保育補助2名																																																																															
処遇の特例事項	◎子ども総合プラン ・夏季一時学童保育を実施 （7月21日～8月31日） 場所：小松南小学校 家庭科室 1年生3名 2年生3名 3年生1名 4年生1名が入会した。 ・小松南小学校わくチャレ共通プログラム実施		●感染症 4・12・1月 インフルエンザ18名 4月 溶連菌感染症2名／11月 手足口病1名 11・12月 マイコプラズマ肺炎2名 12月 感染性胃腸炎1名／1・2月 新型コロナウイルス感染症2名 伝染性紅斑1名 胃腸炎1名 2月 ヒトメタニューモウイルス1名 ●事故・怪我発生件数 受診を要する事故・怪我 1件（前期報告済み） ●安全管理 ・7月 電話の保安器修繕 ・11月 インターホン取り換え工事 ・感染症拡大防止の対策を行い、行政からの情報収集・指示に従い、その都度各家庭へ伝達した。また、小学校と連携を図り安全管理に努めた。 ●苦情解決…苦情解決委員が召集される苦情はなし	●感染症 12・1月 インフルエンザ5名 12月 マイコプラズマ肺炎1名 新型コロナウイルス感染症1名 1月 流行性角結膜炎1名 ●事故・怪我発生件数 受診を要する事故・怪我 なし ●安全管理 ・施設内外の老朽化所の安全点検の実施 ・同左 ●苦情解決…苦情解決委員が召集される苦情はなし	●感染症予防・拡大防止対策…児童の衛生習慣の定着化を図る。また、行政や関係機関からの情報収集を適切に行い、感染予防に努める。																																																																																	

項目	前年度計画		前年度実績（課題）		令和7年度 事業計画																																																																																																									
利用定員	るりたつみ	西新小岩あや	るりたつみ	西新小岩あや	るりたつみ	西新小岩あや	執行上の問題点、課題																																																																																																							
	●事業定員 40名 ＊内 障がい児1名 ●予算定数 4月1日児童数（人） <table><tr><th>学年</th><th>在籍人数</th></tr><tr><td>1年</td><td>11</td></tr><tr><td>2年</td><td>6</td></tr><tr><td>3年</td><td>13</td></tr><tr><td>4年</td><td>9</td></tr><tr><td>5年</td><td>1</td></tr><tr><td>合計</td><td>40</td></tr></table>	学年	在籍人数	1年	11	2年		6	3年	13	4年	9	5年	1	合計	40	●事業定員 109名 ＊内 障がい児8名 ●予算定数 4月1日児童数（人） <table><tr><th>学年</th><th>在籍人数</th></tr><tr><td>1年</td><td>30</td></tr><tr><td>2年</td><td>37</td></tr><tr><td>3年</td><td>19</td></tr><tr><td>4年</td><td>14</td></tr><tr><td>5年</td><td>3</td></tr><tr><td>6年</td><td>1</td></tr><tr><td>合計</td><td>104</td></tr></table>	学年	在籍人数	1年	30	2年	37	3年	19	4年	14	5年	3	6年	1	合計	104	●実績人員 3月 現在児童数（人） <table><tr><th>学年</th><th>在籍人数</th><th>入退数</th></tr><tr><td>1年</td><td>10</td><td>退：1</td></tr><tr><td>2年</td><td>7</td><td>入：1</td></tr><tr><td>3年</td><td>12</td><td>退：1</td></tr><tr><td>4年</td><td>7</td><td>退：2</td></tr><tr><td>5年</td><td>2</td><td>入：1</td></tr><tr><td>合計</td><td>38</td><td></td></tr></table> 入退数…年度途中入退会数 ＊内 障がい児1名	学年	在籍人数	入退数	1年	10	退：1	2年	7	入：1	3年	12	退：1	4年	7	退：2	5年	2	入：1	合計	38		●実績人員 3月 現在児童数（人） <table><tr><th>学年</th><th>在籍人数</th><th>入退数</th></tr><tr><td>1年</td><td>34</td><td>入：7退：3</td></tr><tr><td>2年</td><td>32</td><td>退：5</td></tr><tr><td>3年</td><td>16</td><td>入：1退：4</td></tr><tr><td>4年</td><td>5</td><td>退：9</td></tr><tr><td>5年</td><td>2</td><td>退：1</td></tr><tr><td>6年</td><td>1</td><td></td></tr><tr><td>合計</td><td>90</td><td></td></tr></table> 入退数…年度途中入退会数 ＊内 障がい児7名	学年	在籍人数	入退数	1年	34	入：7退：3	2年	32	退：5	3年	16	入：1退：4	4年	5	退：9	5年	2	退：1	6年	1		合計	90		●予算定数 40名 ＊内 障がい児2名 4月1日児童数（人） <table><tr><th>学年</th><th>在籍人数</th></tr><tr><td>1年</td><td>11</td></tr><tr><td>2年</td><td>11</td></tr><tr><td>3年</td><td>8</td></tr><tr><td>4年</td><td>9</td></tr><tr><td>6年</td><td>1</td></tr><tr><td>合計</td><td>40</td></tr></table>	学年	在籍人数	1年	11	2年	11	3年	8	4年	9	6年	1	合計	40	●予算定数 109名 ＊内 障がい児7名 4月1日児童数（人） <table><tr><th>学年</th><th>在籍人数</th></tr><tr><td>1年</td><td>38</td></tr><tr><td>2年</td><td>31</td></tr><tr><td>3年</td><td>26</td></tr><tr><td>4年</td><td>8</td></tr><tr><td>5年</td><td>3</td></tr><tr><td>6年</td><td>2</td></tr><tr><td>合計</td><td>108</td></tr></table>	学年	在籍人数	1年	38	2年	31	3年	26	4年	8	5年	3	6年	2
学年	在籍人数																																																																																																													
1年	11																																																																																																													
2年	6																																																																																																													
3年	13																																																																																																													
4年	9																																																																																																													
5年	1																																																																																																													
合計	40																																																																																																													
学年	在籍人数																																																																																																													
1年	30																																																																																																													
2年	37																																																																																																													
3年	19																																																																																																													
4年	14																																																																																																													
5年	3																																																																																																													
6年	1																																																																																																													
合計	104																																																																																																													
学年	在籍人数	入退数																																																																																																												
1年	10	退：1																																																																																																												
2年	7	入：1																																																																																																												
3年	12	退：1																																																																																																												
4年	7	退：2																																																																																																												
5年	2	入：1																																																																																																												
合計	38																																																																																																													
学年	在籍人数	入退数																																																																																																												
1年	34	入：7退：3																																																																																																												
2年	32	退：5																																																																																																												
3年	16	入：1退：4																																																																																																												
4年	5	退：9																																																																																																												
5年	2	退：1																																																																																																												
6年	1																																																																																																													
合計	90																																																																																																													
学年	在籍人数																																																																																																													
1年	11																																																																																																													
2年	11																																																																																																													
3年	8																																																																																																													
4年	9																																																																																																													
6年	1																																																																																																													
合計	40																																																																																																													
学年	在籍人数																																																																																																													
1年	38																																																																																																													
2年	31																																																																																																													
3年	26																																																																																																													
4年	8																																																																																																													
5年	3																																																																																																													
6年	2																																																																																																													
合計	108																																																																																																													
職員配置	●予算人員 児童支援員4名 （内非常勤1名） （内1名 4月育児休取得）	●予算人員 児童支援員6名 （内非常勤3名） 補助員2名	●実績人員 児童支援員3名 （内非常勤1名） ●年度途中の入職・退職・異動 ○9月 児童支援員1名西新小岩あやへ異動	●実績人員 児童支援員5名 （内非常勤名3名） 補助員4名 ●年度途中の入職・退職・異動 ○6・7月 児童支援員各1名入職 ○6・7・10・11月保育補助各1名入職 ○6・10月 児童支援員各1名退職 ○6月 児童支援員1名うらら保育園へ異動 ○7月 児童支援員1名小松南らるへ異動 ○8月 保育補助1名退職 ○9月 児童支援員1名るりへ異動	●予算人員 児童支援員3名 （内非常勤2名）	●予算人員 児童支援員8名 （内非常勤4名） （内施設長兼務1名） 保育補助2名																																																																																																								
処遇の特例事項			●感染症 4・7月 水痘3名／6月 溶連菌感染症1名／7月 新型コロナウイルス感染症1名／8月 手足口病1名／10月 マイコプラズマ肺炎1名／12月 インフルエンザ2名 流行性角結膜炎1名 ●事故・怪我発生件数 受診を要する事故・怪我 なし	●感染症 5・6・9・2月 溶連菌感染症7名／6月 ヘルパンギーナ1名／8・12月 インフルエンザ7名／9・10月 手足口病4名／9・10・12月伝染性紅斑4名／2月 ウイルス性胃腸炎・ノロウイルス・新型コロナウイルス感染症各1名 ●事故・怪我発生件数 受診を要する事故・怪我 4件（前期報告済み） 2件 左第二趾挫創／右足第二度熱傷	●感染症予防・拡大防止対策…児童の衛生習慣の定着化を図る。また、行政や関係機関からの情報収集を適切に行い、感染予防に努める。 ※職員の児童と保護者への対応が不十分であったため、本部に状況の確認、苦情の連絡が入った。本部を交えて事実確認を行い、職員間で検証を行った。その結果、状況に応じた判断と行動が出来なかったため、保護者の気持ちに寄り添った対応が出来なかったことが要因であると結論付けた。今回の件を受けて、保護者との信頼回復、組織力の向上に向け、組織の課題と改善策についての話し合いを継続中。 ●組織力の向上 ・日頃から保護者とコミュニケーションをこまめにとり、信頼関係を築いてゆく。保護者の事情や思いに寄り添い、丁寧かつ迅速な対応を目指す。 ・組織の課題について話し合いを継続し、抽出された課題に対する原因の分析・改善策の立案・実行・検証を行い、組織力の強化に努めてゆく。																																																																																																									
●安全管理 ・5月 水道修繕・砂場の砂を補充／10月 男子トイレ小便器フラッシュ弁取付け修繕／11月 女子トイレトイレ修繕工事			●安全管理 ・11月 多目的トイレ便座交換工事																																																																																																											
●苦情解決…苦情解決委員が召集される苦情 はなし			●苦情解決…苦情解決委員が召集される苦情はなし 但し、本部に苦情連絡が入った事案があった。 ※右欄参照																																																																																																											

項目	前年度計画		前年度実績（課題）		令和7年度 事業計画	
重点項目	＜全学童 共通＞ ① 安心な保育 ○児童が“すきなコト・モノ”に出会い、心高鳴る環境づくり ○保護者・関係機関と連携を図り、児童、保護者にとって安心な保育に繋げる		＜全学童 共通＞ ① 安心な保育 ○児童の声を保育に取り入れ、共に環境設定を考え、わくわくする環境づくりを行った。また、園内研修の学びから、学童期の玩具についての考察を深めた。 ○関係機関と連携を図り、生活の連続性を保障した。		＜全学童 共通＞ ① 保育環境の向上 ○児童の『居場所』づくり ・居心地の良い環境を、児童と共につくってゆく。 ～人・物・場の中で～ ・児童の表現や想像力が豊かになるような遊びや暮らしを再考する。	
	らる第一 ●児童が「やりたい」を発信し、遊びをきっかけに仲間関係を築いてゆく。	るりたつみ ●手がけることの喜びを感じ、暮らしを豊かにしてゆく。	らる第一 ●遊びを通して、異年齢での関わりが増えた。時に気持ちがあふつき合いながらも、相手の思いに寄り添うことで、関係が築かれていった。	るりたつみ ●暮らしの中で、モノ・コト・食などを手がけることを行い、仲間と協力しながら共に過ごしていった。	らる第一 ●遊びや日々のやりとりを通して、仲間との関係を築き、安心して過ごせる居場所づくり。	るりたつみ ●異年齢で共に過ごし、経験を伝え合いながら暮らしを豊かにしてゆく。
	らる第二 ●自分で、仲間との体験を積む時間・空間を大切にした保育づくり。	あや ●様々な経験を通し、知恵を身につける暮らしづくり。	らる第二 ●仲間と話し合いを重ねる中で様々な感情に触れ、経験を通して、主体的に暮らしをつくっていった。	あや ●活動や関わり合いの中で、身近な人の思いに触れ、それぞれの経験の蓄積となった。	らる第二 ●様々なことを共に考え、経験し、仲間と育ちあい、関係性を深める。	あや ●語り合いや、共に体験する日々を通して、異年齢や同学年との関係性を築く。
	② 安全な保育環境 ○安全対策・緊急時対応の強化 ・BCP（事業継続計画）、安全計画を継続的に見直し、計画を基に、シミュレーションを行い、緊急時の行動力を高める。 ・非常時の用品の確保と置き場所を再考し、初期対応が迅速に出来るように備える。 ・児童と地域を巡り、危険な場所、学校１１０番を設置している場所を把握し、マップを作成し安全確保を図る。また、児童が自ら危険を回避出来るように支援してゆく。 ・安全対策委員会の役割を明確化し、児童が安全に過ごすために、安全対策を施し、事故発生予防や事故発生時の再発防止に努め、保育の安定に繋げる。 ・マニュアル・手順書を継続的に見直し、習慣化を図る。		② 安全な保育環境 ○安全対策・緊急時対応の強化 ・警察署員による不審者訓練後、安全な保育環境チームが振り返りシートを配布。施設ごとに振り返りを実施し、課題を改善した。 ・BCP（事業継続計画）に基づいた災害時行動基準について全職員で共有し、緊急連絡網の改定を行った。 ・施設ごとに、非常時の用品の確保、置き場所を再考し、迅速な対応が出来るように置き場の図を作成した。 ・学校１１０番のマップを学校より提供してもらい、それを基に危険箇所について児童と話し合いを行った。また、避難訓練の振り返りや窒息、急な天候の変化について児童と共に考えることで、危険回避の意識が高まった。 ・安全対策委員の編成を行い、昨年度末に起こった事故についてSHELL分析を実施した。 ・安全な保育環境チームがマニュアル・手順書の見直しを行った。新任職員対象に研修を実施し、マニュアルの共有、習慣化を図った。		② 安心・安全な保育 ○安全の強化 ・危険な場所、学校１１０番を設置している場所を児童が把握し、危険を感じた際に自ら回避出来るよう、安全マップを作成する。 ・児童と共に地域を巡り、地域との交流を図り、安心に繋げる。 ・各施設で作成した事故発生報告書から、保育の振り返り、再発防止策の検討等、その都度ミーティングを行う。決定事項を、全職員での情報共有・周知徹底をし、職員の安全管理の意識を高める。 ・マニュアル・手順書を継続的に見直し、整理されたものへ改定してゆくことで浸透を図る。	

	③ 保育の組織力の向上 ○職員の育成強化 ・OJT 制度を基に、個々の育成シートを作成し、法人職員としての基本姿勢や業務を理解し、新任層育成の充実を図る。 ・研修等で得た気づきから、中堅、リーダー層が、役割を自覚し、個々の成長から組織力の向上に繋げる。 ・チームの課題を自分ごととして捉え、職員が主体的に行動し、チーム力向上を目指す。 ○保育の資質向上 ・児童の権利保障について学びを深め、こどもまんなか社会を意識し、育成支援について省察する。 ・「子どもの育ちや姿」について語り合い、学童で大切にしたい保育・行事・食を引き続き考察する。	③ 保育の組織力の向上 ○職員の育成強化 ・中堅層と新任層がペアになり、育成シートを基に年3回の振り返りを行う中で、目指す姿や達成目標が明確になった。また副主任と中堅層のOJTを実施し、育成に取り組んだ。 ・外部研修や、他施設の見学で得た学びや気づきを、全職員に共有したことで、より環境を考察してゆくきっかけとなった。また、副主任と中堅層以上が課題を抽出し、職員会議を企画した。職員で思いや気づきを伝え合い、学童の大切にしたいことを話し合った。 ・各施設のチーム目標を共有、実践、振り返りを行い、チーム力向上へ繋げた。また数年続けてきた内容から、目指すチーム像を職員間で共有した。 ・職員間のコミュニケーションエラーにより、支援が必要な児童に昼食を提供しなかった事案が起きた。報告・連絡・相談や、確認することを周知し、保護者からの伝達は、伝言表に記入し可視化した。 ○保育の資質向上 ・内外部の研修を受講。全職員で学んだ後に「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を基に、日々の自分の保育を振り返り共有した。 ・保育の資質向上チームが中心となり、子供の育ちや関わり方について会議等で語り合った。また、行事・食について、なぜ大切にしているのかを掘り下げて話し合いを行った。	③ 保育の質の向上 ○保育の再考 ・児童や保護者の心に寄り添った保育とは？を日々の保育の振り返りを通して考察し、安心な保育に繋げてゆく。 ・情報共有の重要性を理解し、業務の手順を構築する。また、コミュニケーションを密にとり報告・連絡・相談の徹底を行い連携を図る。 ・既存の書類や会議の在り方、事務業務を見直す事により時間を確保し、大切にしたい保育を実践する。
--	--	--	---

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和７年度 事業計画
利用定員	●事業定員 ・特養定員 ８０名 ・短期定員 １２名 ＊特例利用により運営 ●予算定数 ・特養＝８４名×９３％ ＊特例利用も含む ・短期＝ ８名×８０％ ＊同上	●実績人員 （令和 ７年 ２月末時点での平均実績） ・特養実績・・・年間平均稼働率 ９１.８１％で推移 年間合計空床日数 ２,３０６日 （入院空床：１,３０９日、契約解除後空床：９９７日、外泊空床：０日） ・短期実績・・・年間平均稼働率 ８２.７０％で推移	●事業定員 ・特養定員 ８０名 ・短期定員 １２名 ＊特例利用により運営 ●予算定数 ・特 養 ８４名 × ９６％ ＊特例利用含む ・短期入所 ８名 × ８５％
職員配置	●予算人員 施設長 １名 管理職 ２名（生活相談員兼務） 監督職 １名（介護係長） 介護支援専門員 ２名 管理栄養士 ２名 機能訓練指導員 １名 介護職 常勤 ２８名・非常勤 １０名 看護師 常勤 ２名・非常勤 ４名 事務員 常勤 ２名・非常勤 １名 小計 ５６名 非常勤医師 ２名 合計 ５８名 ※協力病院…５施設	●実績人員 （令和６年２月末時点） 施設長 １名（兼務） 管理職 ２名（生活相談員兼務、１名休職中） 監督職 １名（統括支援係長） 生活相談員 １名 介護支援専門員 １名 管理栄養士 ２名（１名育休中） 機能訓練指導員 １名 介護職 常勤 ２１名 看護師 常勤 ２名 非常勤 １６名（内、派遣７名） 非常勤 ４名（内、派遣２名） 事務員 常勤 １名（法人本部出向） 非常勤 １名 小計 ５４名 非常勤医師 ２名 合計 ５６名 ＊協力病院…５施設 ●年度途中の入退職・異動など（令和 ７年 ２月末時点） 入職 １３名（常勤 ４名、非常勤 ９名） 退職 １１名（常勤 ２名、非常勤 ９名）	●予算人員（令和７年度新規採用内定者は２月末現在で１名） 施設長 １名 管理職 ３名（内、１名休職中） 監督職 １名（生活相談員兼務） 介護支援専門員 ２名（内、１名生活相談員兼務） 管理栄養士 ２名 機能訓練指導員 １名 介護職 常勤 ２６名 看護師 常勤 ３名 非常勤 １５名 非常勤 ２名 事務員 常勤 １名 非常勤 １名 小計 ５８名 非常勤医師 ２名 合計 ６０名 ※協力病院…５施設
処遇の特例事項		●感染症の状況 ６～８月にかけて利用者４５名、職員１１名の新型コロナウイルス罹患があり、施設内クラスターとして葛飾区に報告している。 インフルエンザ及びその他の感染症はなし。 ●事故・怪我発生件数（２月末時点） 受診を要する事故 ７件（内、骨折 ３件、裂傷縫合 ２件、打撲 ２件） ●苦情解決・・・苦情解決委員が召集される苦情はない	●感染症予防・拡大防止対策 マニュアルに基づき感染症予防対策を実施する。ワクチン接種やマニュアルの見直しは行政の指示や情報、ガイドライン等に沿って随時対応する。 ●事故・怪我対応 マニュアルに基づいた対策及び対応を実施する。事故報告書やヒヤリハットをもとに発生要因や場所、時間帯などの分析を行いながら予防対策を検討する。 ●苦情解決 苦情対応マニュアル及び報告書式等を見直し、利用者・家族等からの意見・要望を丁寧に取り扱う。
その他	●給食委託業者による安定した食事の提供 ●東京都福祉サービス第三者評価受審	●給食委託業者による安定した食事の提供 ・世界の料理、駅弁、銘菓等提供し、利用者から好評であった ●東京都福祉サービス第三者評価受審 ・令和６年１０月より「一般社団法人 特養ホームマネジメント研究所」で受審中	●東京都福祉サービス第三者評価受審を予定（前年度と同時期に実施予定とする） ●新規事業に向け情報収集 ●大規模修繕に向け利用者・家族への説明 ●人事考課システムに沿った人事考課の実施

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和7年度 事業計画
重点項目	①運営の安定を図る ○稼働率の安定 ・契約解除後空床及び入院空床の要因分析を行うことで計画的な待機者確保や健康管理の意識づけを行い、空床日数の減少に取り組むことで稼働率の安定を図る。 ○人材確保と育成 ・人材採用活動を継続し、監督職やリーダーがチームマネジメントを十分に行える体制を確保する。 ・外国人人材を受け入れにおける支援機関との協力体制を構築するとともに積極的な受け入れに取り組む。 ・ハンドブックの内容を見直すとともに、福祉従事者に必要な知識や制度などを追加することで入所時の資料や職員の学び、育成に活用できるものへとブラッシュアップする。 ・職員個々の特徴や特性、キャリアビジョンを踏まえた育成計画を立案し、それを基に指導・育成を行う。 ○生産性の向上等を通じた働きやすい職場環境づくり ・生産性向上委員会を発足し、現在の業務を検証すると共に、業務の効率化を図る。また、直接介助業務と間接業務など分業制を取り入れ、それぞれに必要な人材を配置することで職員個々の負担を軽減すると共にサービスの質を確保する。 ○制度改正に伴う取組み ・令和6年度介護保険制度改正に伴う、料金改定・取得加算項目の整理、体制整備を行う。 ②生活の質の向上 ○「あたりまえ」を大切にする支援 ・日々の生活における「あたりまえ」を大切にし、利用者の言動や心身状態の変化への気づき、整容、環境などをより追及し、記録や支援に取り組むことで利用者・家族がより安心・安全と感じるサービスの提供を実践する。 ○楽しみの充実 ・季節を感じられる年中行事を大切にし、一つ一つを丁寧に企画・実施することで、日常生活の中の楽しみとなるような機会にする。 ・販売会、マルシェ、クラブ活動を通して施設利用者と地域住民が共に参加できる機会を作る事によって社会参加意識を高める。	①運営の安定を図る ○稼働率の安定 ・新規入所や待機者確保に努めたが、ほぼ同数の入退所があり満床を維持することができなかった。入院空床は日数集計に留まり、分析まで至らなかった。 ○人材確保と育成 ・慢性的な常勤不足は変わっていないものの、支援機関の協力を得て特定技能人材を4名採用でき、日々のケア実践も可能となった。 ・人材補充が十分ではない状況では監督職・リーダーのマネジメント力向上に取り組む体制を取ることができなかった。 ・ハンドブックの内容の見直しとブラッシュアップには施設全体で取り組むことができなかったため、次年度の課題とした。 ・日々のケアや人事考課に基づき必要に応じて職員の指導・育成を実践しているが、個々のスキルアップは今後も継続的に実施していく。 ○生産性の向上等を通じた働きやすい職場環境づくり - 生産性向上委員会を発足したものの、十分な協議・検討ができず介護職の分業制取り入れのみに留まった。業務の効率化や負担軽減に向け、ICT機器の活用や各委員会・会議の見直しも必要となっている。 ○制度改正に伴う取組み ・利用者の入退所により加算取得根拠とする要件を見直す必要があり、複数の要件で算定根拠を示せるよう必要書類の整備を行った。 ・マイナ保険証への移行に伴う医療保険証の取扱いについて取り決め、利用者・家族・職員に周知した。 ②生活の質の向上 ○「あたりまえ」を大切にする支援 ・重点項目とするきっかけであった利用者の整容や福祉用具の整備について意識付けと改善に取り組み、第三者評価の家族アンケートでは「大切にされていると感じる」という意見もいただけた。サービスの質については常に向上を意識し、より良いサービスの追求を継続していく。 ○楽しみの充実 ・季節を意識した行事や変わり湯を定期的に実施し、11月からは外出行事を再開、実施した。（柴又帝釈天、初詣）クラブ活動の内容や方法、講師の選定などは次年度の課題とする。 ・にじいろマルシェの定期開催、デイサービスの協力で販売会も実施できた。	①運営の安定を図る ○稼働率の安定 ・満床維持と計画的な待機者確保により契約解除後空床の減少に努め、入院要因分析により健康管理の意識を高めることで入院空床日数の減少に取り組み、稼働率の安定を図る。 ○働きやすい職場環境 ・利用者本位のケア方針など介護保険や法人・施設理念等を定期的に学ぶ機会をつくる。（ハンドブックの見直しやブラッシュアップ） ・より専門性の高いスキル習得のため、研修等の受講支援を行う。 ・現場の課題の見える化や業務の効率化及び負担軽減のためのシステム導入と活用。 ②サービスの質の向上 ○サービスの質の向上を目指した取組み ・実践しているサービス提供内容と記録を各加算の算定要件と併せ取得可能なものを精査し、算定実施に向けて見直し、整備を行う。 ・サービス担当者会議への利用者や家族の参加を積極的に促し、その意向をケアプランに反映することで思いを大切にした支援を実践する。 ・各マニュアルの見直しによるサービスの標準化やOJTによる介護技術の向上に取り組む。 ○楽しみの充実 ・季節を感じられる年中行事を大切にし、一つ一つを丁寧に企画・実施することで日常生活の中の楽しみとなるような機会にする。 ・外出行事やクラブ活動、販売会を定期的に開催する。 ・外注食やイベント食の充実を図る。（委託業者との共同企画） ③地域福祉の拡充を図る ○他事業所との連携を図り、地域アセスメントを実施したうえでニーズの把握に努め、受入れ体制の整備を行う。 ○地域イベントへの参加やにじいろマルシェでの介護相談室など地域住民との関わりの機会を増やす。（施設・利用者と地域の繋がりを意識する）

項目	前年度計画	前年度実績（課題）	令和 7 年度事業計画																																				
利用定員	●予算人員 ・営業日数 294 日 ・登録者数 60 人 ・1 日の目標利用者数 22 名 ・目標稼働率 73%	●実績人員（2 月末日） ・営業日数 293 日 ・1 ヶ月あたりの平均利用者数 364 人 ・予算比達成率 61.9 % 月別利用人数 <table><tr><td>営業月</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>1</td><td>2</td></tr><tr><td>月末登録者（名）</td><td>36</td><td>34</td><td>39</td><td>43</td><td>43</td><td>44</td><td>41</td><td>39</td><td>42</td><td>44</td><td>43</td></tr><tr><td>月利用者数（名）</td><td>345</td><td>335</td><td>358</td><td>407</td><td>402</td><td>381</td><td>396</td><td>346</td><td>376</td><td>322</td><td>341</td></tr></table> 新規契約者 31 名 解約者 22 名（死去 8 名 施設入所 14 名（内すずうらホーム入所 6 名）	営業月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	月末登録者（名）	36	34	39	43	43	44	41	39	42	44	43	月利用者数（名）	345	335	358	407	402	381	396	346	376	322	341	●予算人員 ・営業日数 292 日 ・登録者数 60 人 ・利用定員 30 名 ・1 日の目標利用者数 23 名（稼働率 76%）
営業月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2																												
月末登録者（名）	36	34	39	43	43	44	41	39	42	44	43																												
月利用者数（名）	345	335	358	407	402	381	396	346	376	322	341																												
職員配置	●予算人員 所長 1 名（すずうらホーム施設長兼務） 監督職 1 名（生活相談員兼務） 生活相談員 2 名（1 名介護職兼務） 看護職（非常勤）1 名 介護職 6 名（常勤換算 5.6 名） 合計 10 名	●実績人員 所長 1 名（すずうらホーム施設長兼務） 監督職 1 名（生活相談員兼務） 生活相談員 2 名（1 名介護職兼務） 非常勤看護職 1 名 介護職 6 名（常勤換算 5 名） 合計 10 名 ○年度途中の入退職・異動など 退職 1 名（3 月非常勤介護職）	●予算人員 所長 1 名（すずうらホーム施設長兼務） 監督職 1 名（生活相談員兼務） 生活相談員 2 名（1 名介護職兼務） 非常勤看護職 1 名 介護職 6 名 常勤換算（4.3 名） 合計 9 名																																				
処遇の特例 事項		●事故・怪我発生件数 ・受診を要する怪我 0 件 ●苦情解決・ ・ 苦情解決委員が召集される苦情はない	●感染症について ・新型コロナウイルス感染症対策を講じると共に、季節性の感染症の予防対策や感染拡大防止策を徹底して行う。 ●事故防止について ・事故防止マニュアルに基づいて対策を行う。																																				

	前年度計画	前年度実績（課題）	令和 7 年度 事業計画
	1、運営の安定を図る ①利用者の満足度を高める ・継続性のある活動プログラムを提供をし、利用率向上を目指す。 （編み物、木工、刺し子、味噌や梅干しづくり等） ・利用者の通所意欲向上につながる利用者主体のサービスの提供を行い、「やりたい・やってみたい」を実現できる事業所を目指す。 ②地域共生社会の実現 ・地域づくりを推進するために、地域とつながるきっかけづくりを継続していく。 （にじいろマルシェ、交流サロンやサークル活動、体操教室の実施） ③新規利用者獲得に向け、外部居宅介護支援専門員との信頼関係の構築 ・新規パンフレットの配布等を行い、事業所認知度向上を目指す。 ・SNS を活用し、事業所の活動内容を発信する。 2、職員育成強化 ①より良い職場・サービスのための業務改善 ・職場環境の更なる整備・可視化し、現状の業務をより安全・正確・効率的に行うことを目的に取り組む。 ・業務明確化と役割分担をし、職員それぞれが従事する業務に向き合う。 ・標準的な手順に則り指導できる OJT の仕組みづくりを行う。 ②委員会の運営・研修を行う ・BCP（事業継続計画）の運用をする。 ・高齢者虐待・身体拘束等の適正化に対する委員会と研修会の定期開催を実施する。 ③感染症対策の強化 ・あらゆる感染症に対し、職員の知識を高め利用者処遇に活かす。	1、運営の安定を図る ①利用者の満足度を高める ・継続性のあるプログラムを提供し利用者が「やりたいこと」を主体的に取り組めるようにした。 - 編み物（アクリルたわし、モチーフづくり）買い物、外出支援などを実施した。 ・年中行事、アクティビティの充実を図った。 4 月花見、5 月外気浴 6 月紙飛行機大会 7 月七夕会 8 月夏祭り 9 月敬老会 10 月ハロウィン・体育祭、園児との交流 12 月、クリスマスコンサート、クリスマス会、1 月、学童保育クラブとの交流 ・おやつ時間の利用者満足を向上させた。 ②地域共生社会の実現 ・にじいろマルシェを毎月開催し、地域で活動している方たちとの情報交換ができた。 ・地域の高齢者の方たちにも大勢足を運んでいただき、地域ニーズを知ることができた。 - また、活動への参加希望の声も聴かれた。 ・9 月に「活きたリアルな現場の声」を発信する情報発信サイトエッセンシャルワーカーの取材を受け事業所の特徴を広報することができた。 ③新規利用者獲得に向け、外部居宅介護支援専門員との信頼関係の構築 ・介護支援専門員に施設の特色、活動の様子などをまめに発信し連絡を密にとることで見学希望者、新規契約につながった。 ・夕食持ち帰り弁当が好評で問い合わせも増えた。 2、職員の育成強化 ①より良い職場・サービスのための業務改善 ・情報共有の方法として IP 電話を活用することで、タイムリーな情報共有ができ対応が迅速化した。 ・業務全体の見直しを行い業務の標準化を目指したが、達成には至っていない。 ②委員会の運営・研修を行う ・高齢者虐待、身体拘束について内部で学習会を行った。 - 事例検討、虐待の芽チェックシートを実施した。 ・事業継続計画（災害、感染症）研修は実施したが、訓練は実施できていない。 ③感染症対策の強化 ・感染症発生時フローチャートの再確認、利用者情報（緊急連絡先）を見直し介護ソフトに入力し職員間で共有した。	安定的な運営を目指す 1、利用者の満足度、サービスの質の維持 ①自立支援・重度化防止を意識した生活支援の提供 ・利用者個々に効果的な運動やレクリエーション、社会参加を推進し、認知予防に努める。 ・軽作業を機能訓練の一環として取り入れ、安全に実施する。 ・普段との違いにいち早く気づく視点を持ち、共有し事故防止につなげる。 ②利用者が在宅サービスを維持するための支援 ・要介護者が在宅での生活を維持していくためには家族支援が重要であり、家族のレスパイト、在宅での困りごとを相談しやすい関係、環境づくりを行う。 ・ご利用者との関わりを第一に考え、コミュニケーションをしっかりと図っていく。 2、地域との連携、柔軟な対応力 ・地域との連携を強化、包括ケアを推進する。 ・地域のニーズに応じたサービス提供を心掛ける。 ・施設機能を積極的に開放し地域とのつながりを強化する。 ・地域の高齢者や障害者の生活を豊かに支援する。 3、業務の生産性の向上と働きやすい環境の整備 ・職員が主導となる勉強会の定期開催 ・効率的な業務の推進を目指し、適宜業務内容の見直しを行う。 ・5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）の推進、的確な介護方法の習得、手順の簡略化を目指す。 ・高齢者虐待防止、身体拘束防止を意識し丁寧な支援により不適切ケアを防止する。 4、経営の安定を図る ・稼働向上の取り組み 1 日の利用者数の増加を目指す（欠席時、振替利用、臨時利用を勧める。） ・事業所の強みをより一層強化（幅広い顧客ニーズの受け入れ）弱みの改善を行い、定期的に外部へ情報を発信する。
その他			

令和7年度事業計画(案) 施設名 すずうら指定居宅介護支援事業所